

## 第1回策定委員会からの主な変更点 (学校教育分野)

### 1 【基本目標1】 基本施策(1)(2)

**意見**：全体の学力の底上げをはかることと、一人ひとりの学習状況に応じることについて、基本施策の内容を分かりやすくするとよい。

**対応**：全体の学力の底上げをはかる施策は(1)、一人ひとりの学習状況に応じる施策は(2)と捉えている。

修正前	修正後
<p>(1) 各学校における学力向上の取組 学力推進委員会を中心に児童生徒の学力についての分析・検証や、改善の提言を行い、各学校において学力向上PDCAサイクルを確立します。</p>	<p>(1) 各学校における学力向上 <u>確かな学力が身に付くよう、学力向上推進委員会を中心に子どもの学力についての分析・検証や、改善の提言を行います。</u> また、各学校において、「<u>主体的・対話的で深い学び</u>」の実現に向けた授業改善を進めるとともに、<u>学力向上PDCAサイクルを確立し、子どもの実態に応じた学力向上の取組を進めます。</u></p>
<p>(2) 一人ひとりの学習状況に応じた学力向上の体制づくり ICT機器の活用の推進や発展・体験学習推進事業、宇宙教育連携推進事業などの実施により、児童生徒の学ぶ意欲や学習に対する興味・関心を広げることができるようにします。 また、小学校英語やプログラミング教育等においてそれぞれのめざす能力を身に付けることができるようにすることで、一人ひとりの学習状況に応じた学力向上の体制づくりを行います。</p>	<p>(2) 一人ひとりの学習状況に応じた学力向上の体制づくり <u>効率的で分かりやすい授業の実現と、子どもの情報活用能力を身に付けることができるように、ICT機器を活用した積極的な授業改善を推進します。</u> また、<u>基礎的な学力の確実な定着と、学校での学びをさらに発展させることができるような多様な学習を進め、「学びの個別最適化」を図ります。</u>そのために、一人ひとりの学習状況に応じた<u>きめ細かな指導が行えるように、学習指導補助講師を配置します。</u></p>

## 2 【基本目標 2】 基本施策(3)(4)

**意見**：基本目標 2 は、「心の育成」が主たる目標であるので、(3)(4)の支援体制の充実が基本目標(2)に位置付いていることが、そぐわないのではないか。

**対応**：「特別支援教育」と「外国人児童生徒への教育」については、「心の育成（かかわり）」と「支援体制」の2つの意味が混在していたため、「心の育成（かかわり）」に関することを、【基本目標 2】の基本施策(3)『「共生社会」の実現をめざす教育の推進』として新たに位置付けた。

また、「支援体制」に関することについては、【基本目標 4】の基本施策(2)「多様なニーズに応じた教育支援体制の充実」として新たに位置付けた。

修正前	修正後
<b>【基本目標 2】</b> (3) 特別支援教育の充実 (4) 外国人の子どもへの支援の充実	<b>【基本目標 2】</b> (3) <u>「共生社会」の実現をめざす教育の推進</u>
	<b>【基本目標 4】</b> (2) <u>多様なニーズに応じた教育支援体制の充実</u>

## 3 【基本目標 3】 目標

**意見**：育成したい子どもは、「グローバル社会に生きる力を身に付けた子」なのか「郷土愛のある子」なのか？

**対応**：基本方針に「郷土愛のある人」とあるように、やはり、「ふるさとに愛着と誇りを持つ子」を育成していくというねらいの方が適切であると考え、【基本目標 3】を変更した。

目標の変更により、基本施策(1)「ふるさと大垣科」の推進 (2)英語教育の推進 (3)国際理解教育の推進 の施策を新たに設けた。

### 【目標】

修正前	修正後
ふるさと教育を推進し、グローバル社会に生きる力を身に付けた子を育成します	<u>グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します</u>

## 4 【基本目標 3】

**意見**：「学校・家庭・地域の協働」の位置付けは、【基本目標 3】でよいのか。

**対応**：「学校・家庭・地域の協働」については、2・3・4にまたがって関連をしていると捉えるが、「学校支援体制」を重視していきたいので、【基本目標 4】豊かな学びを支える教育環境へ変更をした。